



# 大阪から公害をなくす会ニュース

No.457

2018.10.10

発行／

大阪から公害をなくす会

〒540-0026 大阪市中央区内本町2-1-19 内本町松屋ビル10 370号

TEL 06-6949-8120 / FAX 06-6949-8121

E-mail : oskougai@coast.ocn.ne.jp URL http://oskougai.com/

発行責任者 金谷 邦夫 毎月10日発行 個人会員 月250円

りんどう  
画・加納忠

## 台風21号が残した環境・生活破壊

### 電柱破損と停電と高波

関西電力の電柱は全部で270万本、電線の長さは40万kmに及びます。

関電の発表では、9月20日現在1,000本以上の電柱が折れ、のべ200万戸が停電しました。特に、山間部では大木の倒壊で道路が寸断し、復旧に時間がかかったと言います。

なぜ電柱がこんなにたくさん倒れたのでしょうか？

専門家の話では、これまでの電柱の埋設は、高さの1/6まで掘り、さらに根枷ねかせと言う横梁よこばりを設置してしっかりと固定し、風速40mに耐えられる設計になっています。ところが、最近では、この根枷の取り付けは委託業者任せ、おまけに、NTTはじめIT関係の設備箱が取り付けられており、風圧や荷重に耐える強靱さが求められていますが、時には長



泉南市内にて（上下とも・大森和夫泉南市議提供）

き調整としてパンザーマストという継柱鋼管を頭柱部に挿入している場合があるとか…。業者任せで、どうなっているのか調査が必要だといわれます。関電もご多分にもれず、人員削減・業者委託がすすみ安全確保が手薄になっています。



一方、松井知事が「何の問題もない」といった夢洲でも、写真のような高波被害が発生しています。この場所が、万博やカジノなど集客施設にふさわしいとはとても思えません。（藤永のぶよ）



大阪城公園



大阪市城東区



夢洲コンテナ置き場